

# 中宮中だより

No. 6

令和元年（2019年）8月26日  
枚方市立中宮中学校  
校長 鶴島 茂樹

## <さあ、2学期スタート！！>

さあ、いよいよ2学期の始まりです。生活リズム（就寝・起床時間）をしっかり立て直して、学校生活を再スタートさせていきましょう。

2学期は体育祭と並んで1年間の最も大きな行事である文化祭があります。1、2年生合唱、3年生演劇と、1学期も含めたそれまでのクラスの団結力が試される大切な行事です。全力を尽くして、文化祭を成功させましょう。

特に3年生、いよいよ義務教育修了まであと半年足らずです。中学校生活最後の文化祭、悔いの残らぬよう、全力で取り組んでください。もちろん、行事に限らず、授業も休み時間も、これからの一日一日、クラスでお互いに支え合う毎日が、もう二度と還らない貴重な日々なのです。

本当に全力でこの毎日を大切に過ごしていきましょう。その積み重ねがきっと自分の、お互いの、みんなの「進路」を実現する力になっていくはずですよ。

## <努力の成果 おめでとう！！>

サッカー部 枚方市3年生大会 準優勝

ラグビー部 上田倭士くん 関西ラグビーフットボール大会 優秀賞

陸上部北河内記録会 小田海月愛さん 女子100M3位・善定拓海くん 男子100M4位  
井原健介くん 男子400M4位・馬渡慧くん 男子走幅跳4位

吹奏楽部 大阪府吹奏楽コンクール北地区大会小編成の部、銅賞

美術部 内山海姫さん・鏡畑陽葉さん・斉藤優芽さん（2年）

ひらかた小・中学生絵画コンクール 優秀賞

水泳 宇野陵哉くん（3年）

200M個人メドレー 府大会5位入賞 近畿大会出場

宇野舜哉くん（2年） 200M個人メドレー 府大会6位入賞

\*その他、たまたま結果は出なかったかもしれないけれど、連日の猛暑のなか、部活動、みんな本当によくがんばったと思います。

さて、夏休みの大切な宿題の1つである「平和レポート」、しっかり取り組めたでしょうか？単に、「調べました」ではなく、そこに自分の考えや思いを込めることができたでしょうか？

昨年に引き続き、広島平和式典での小学生の誓いを掲載しました。

## <こども代表 平和への誓い>（8月6日平和式典にて）

私たちは、広島町の町が大好きです。ゆったりと流れる川、美しい自然、「おかえり」と声をかけてくれる地域の人、どんなときでも前を向いて生きる人々。広島には私たちの大切なものがあふれています。

昭和20年（1945年）8月6日。あの日から、血で染まった川、がれきの山、皮膚がはがれた人、たくさんの亡きがら、見たくなくても目に飛び込んでくる、地獄のような光景が広がったのです。大好きな町の「悲惨な過去」です。

被爆者は語ります。「戦争は忘れることのできない特別なもの」だと。私たちは、大切なものを奪われた被爆者の魂の叫びを受け止め、次の世代や世界中の人たちに伝えたい。「悲惨な過去」を「悲しい過去」のままに終わらせないために。二度と戦争をおこさない未来にするために。

国や文化や歴史、違いはたくさんあるけれど、大切なもの、大切な人を思う気持ちは同じです。みんなの「大切」を守りたい。「ありがとう」や「ごめんね」の言葉で認め合い許し合うこと、寄り添い、助け合うこと、相手を知り、違いを理解しようと努力すること。自分の周りを平和にすることは、私たち子どもにもできることです。

大好きな広島に学ぶ私たちは、互いに思いを伝え合い、相手の立場に立って考えます。意志をもって学び続けます。被害者の思いに、私たちの思いを重ねて、平和への思いを世界につなげます。

様々な事情があったにせよ、この日本は、かつて、朝鮮半島を植民地化し、中国やアジア諸国を侵略していきました。あげくのはてに、太平洋戦争を引き起こし、沖縄戦で多くの人の命を犠牲にし、なおかつ広島、長崎に原子爆弾を落とされてさらに多くの命を失うまで、戦争をやめなかった国なのです。

そして現在、為政者（政治を行っている人）は、戦争を直接知らない世代です。もちろん私たち先生も含めて、多くの大人は戦争を体験していない世代です。

だからこそ、事実をしっかり学んで、想像力を働かせ、戦争を単に「悲惨な過去」として片付けずに、二度と愚かな戦争を繰り返さないために、これからの社会がどうあるべきか、大人も子どもも共に考え、行動していく必要があると思うのです。